

SA・ネット大阪ニュース 第40号

発行 NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪 <https://sanetosaka.com/>
〒540-0006 大阪府中央区法円坂 1-1-35 大阪市教育会館(アネックスパル法円坂)内
認定 NPO 法人大阪府高齢者大学校内 TEL : 080-3040-6336

◆ ◆ 第16期通常総会開催の報告 ◆ ◆

広報部長 大川 正彦

平素は当法人の運営に格別のご理解とご協力を賜りまして心より御礼申し上げます。
第16期通常総会は令和4年5月29日以下の内容にて開催させて頂きました。

コロナ禍で令和2年は入場制限、令和3年は書面審議、令和4年は3年振りの総会となりました。第16期総会は、司会古川 雅一氏(理事)、議長=森川 加也氏(理事)で開催しましたので報告致します。

第16期通常総会

期日 令和4年5月29日(日) 午後1時30分~2時30分

場所 大阪ボランティア協会 会議室

正会員数23名中(出席12名、委任状11名)、計23名の承認を頂きましたよって1/2以上の賛成により議決されました。

議案

第1号議案	第16期事業報告承認の件	承認23	否認0
第2号議案	第16期決算報告承認の件	承認23	否認0
第3号議案	第17期事業計画(案)の件	承認23	否認0
第4号議案	第17期活動予算(案)の件	承認23	否認0

※ 詳細は ホームページ参照 <https://sanetosaka.com>

◆ ◆ 第16期通常総会を迎えて理事長の挨拶 ◆ ◆

理事長 村松 秀明

コロナの暗雲が少し晴れ、明るい兆しが見えてきた一方、ウクライナ情勢は泥沼化し、経済はと言えば24年ぶりの円安水準と先行きの不安材料も多い現状です。会員の皆様におかれましては活動の再開が出来る環境となりましたが如何お過ごしでしょうか。

当法人も皆様に活動の場を提供できますように、各事業部が準備を進めている状況です。本部においては「おもちゃ学校」城東区での「夏休み子ども工作教室」の開校、大阪市教育会館の障がい者就労支援団体との「ポッチャ交流会」等々を外部の福祉助成団体からの助成金を元に進めております。今年度は大阪ガス福祉財団、子ども夢基金、住友生命健康財団の助成金を元に活動をしていきます。

又関係団体とのコラボ活動を増やしていく事を目的に、大阪府SA連協に加盟することを検討中です。同じ目的で活動できる18のSA地区会との連携、模索を考えております。会員各位のご理解を宜しくお願い致します。

◆ ◆第16期事業報告◆ ◆

I. 第16期事業 総括報告

報告者：理事長 村松 秀明

第16期は昨年度と同じくコロナの影響を受け活動の場が無くなり、縮小という事態が続きました。一方それぞれの事業部におきましては、コロナ禍の中での活動に工夫を凝らし細心の注意を払った活動をする事で、関係者の中から感染者を出す事無く推移しました。

本部に於きましては昨年に引き続いて「おもちゃ学校」をSA吹田（NPO・SA子ども活動塾）の全面的支援を頂いて開校2年目を無事に終了致しました。夏休みには1期修了生の活動として「子ども工作教室」を4日間にわたって開催致しました。

おもしろ算数教室事業部におきましては、講師が2名となり今後の活動に厚みができてきました。

国際交流事業部につきましてはコロナ禍の中、一昨年スタート致しましたオンラインでの海外交流活動を継続致しました。ミャンマーの日本語学校に引き続いてトルコ・アンカラの土日友好協会、トルコ・イスタンブール公立職業訓練学校「ISMEC」との交流を継続致しました。また日本国内では海外からの技能実習生の研修センター「AOTS」のインドネシア研修生との交流を行いました。

決算状況としては資産を食いつぶす活動にピリオドをうち、健全な収支状況で決算を打つことが出来ました。持続可能な活動の目安となる黒字体質に変換しました。

他団体との連携につきましては、昨年に引き続いて国際交流事業部、本部に於いてSA吹田とのコラボ活動を継続致しました。また当法人の母体であります、大阪府SA連協との繋がりは更に緊密になり、今後も更なる連携を模索していくべく検討中です。



おもちゃづくり教室



おもしろ算数教室



国際交流活動

NPO SA おもちゃ学校 大阪校 2期生 (2021,3~2022,4)

2期生・開校会式



化学工作実習



2期生・閉校式

II 事業部 活動報告

1, 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動報告

報告者：島田 道子

「新型コロナウイルス感染」の影響を受け、ほとんど活動ができない状況でした。

① 四天王寺「わか市」 参加回数 3回

「わか市」は、少ないながら8月 11月 12月と開催。私たちの活動は、「3密」の一つ、子どもさん方やシニアとの「濃厚接触」が懸念されるため その対応策を講じながらの開催でした。四天王寺側の「自寺での催しでの参加者から感染者を出さない」との強い意思表示でもありました。

② 「おもちゃづくり教室」 実施 2回

「新型コロナウイルス感染」を懸念し「3密」を避けるという趣旨で、年2回（3年11月、4年3月）の開催となりました。講師側、受講生ともシニアが多く、また、府内各地からの参加で外出による感染懸念を考慮し大事をとりました。

③ NPO 法人大阪府民カレッジ受講生への指導 実施2校（延3回）

同カレッジ側が、やはり「コロナ感染」の懸念から、例年月2回 数少ない活動でしたが、幸いにも参加者で「コロナ感染症」に罹病された方はなく安堵しています。

2, おもしろ算数教室事業部 活動報告

報告者：二葉 登代子

この教室への参加者からは、いつものように「算数パズル難しかったが、楽しかった」「頭の体操、楽しかった」「算数楽しく遊びました」等の声が上がり好評を得ました。

この活動楽しみながら「マジックの謎解きをする・パズルを解く・簡単な計算をする」に取り組む事によって、脳を活性化していることを表しています。また、この活動は、認知症予防対策で大切な四条件

「食生活対策 ・頭（脳）のトレーニング ・運動習慣 ・質の良い睡眠」

の中の一つであることが分かります。

現在、コロナ禍の中で、パズル体験やおもしろ算数教室の活動は、なかなか困難です。しかし、このおもしろ算数教室を知って頂き、活動が広がってきています。

3年度には、府民カレッジ3校・区民カレッジ1校、小学校のいきいき教室では6回の実施でした。ここでは、回を追うごとに成長していく小学校1年生の様子が良くわかり、楽しく活動ができました。

3, 国際交流事業部 活動報告

報告者：古川 雅一

2021年度の活動はコロナ禍で、すべての対面活動が活動休止となりました。

そのような状況のもと、コロナの影響を受けないオンラインによる海外との交流活動が主流となりました。交流相手国はミャンマーとトルコの2か国です。

また、海外産業人材育成協会での日本語会話練習会フォロー、YOLO JAPANとの交流も実施いたしました。

①ミャンマー日本語学校(ヤンゴン)とのZOOM交流活動

名 称：「日本語で話そう」交流会

活 動 日：毎週水曜日 16:30～17:30（現地時間 14:00～15:00）

第3クール 2021年4月21日～6月30日 計10回

第4クール 2021年7月21日～9月29日 計10回

第5クール 2021年10月20日～12月22日 計10回

第6クール 2022年1月12日～3月23日 計10回

各回 日本人メンバー 6名、ミャンマー側 6～10名、コーディネータ1名

交流内容：毎回のテーマに沿って全体交流、グループに分かれての交流。

②トルコ・アンカラ土日基金友好協会・日本語教室とのZOOM交流活動

名称：「日本語で話そう」交流会

活動日：毎週日曜日 16:30～17:30（現地時間 10:30～11:30）

第1クール 2021年4月18日～6月27日 計10回

第2クール 2021年11月7日～12月5日 計5回

第3クール 2022年1月23日～3月13日 計8回

各回 日本人メンバー 10名(内、SA吹田4名)、トルコ側 6名～10名

2021年9月19日 第1クール参加者と反省会、次回の実施内容について協議。

交流内容：毎回のテーマに沿って全体交流、グループに分かれての交流。

③トルコ・イスタンブール生涯学習センター日本語教室とのTEAMS交流活動

名称：「日本語で話そう」交流会(先方の授業として開催)

活動日：毎週土曜日 16:30～18:00（現地時間 10:30～12:00）

第1クール 2021年6月5日～7月17日 計7回

第2クール 2021年10月16日～12月18日 計10回

第3クール 2022年2月26日～4月30日 計8回

各回 日本人メンバー 13名、トルコ側 13名（登録制度で実施）

交流内容：トルコ側が各回のテーマについてグループで交流プレゼン。日本側もトルコの様々な文化、風習他を知る事ができ有意義な交流会。

④海外産業人材育成協会・介護士候補者とのZOOM交流活動

名称：「日本語会話練習」交流会

活動日：第1回 2021年11月6日 第2回 2021年12月10日

各回 日本人メンバー 9名、介護士候補者 18名（登録制度で実施）

交流内容：インドネシアから来日の介護士候補者と日本語会話練習会。

⑤モンゴル日本語教室とのZOOM交流活動

交流内容：トライアル及び実際の交流会 2021年6月12日、8月19日

⑥YOLO JAPANとの交流活動

交流内容：日本に来ている留学生のワンストップサービスとして様々な支援の内容を聞き今後の活動の参考にした。2021年5月19日国際文化交流科7期修了生2名 SA ネット大阪1名参加。



4 広報部 活動報告

報告者：大川 正彦

① 広報誌の発行

(1) 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」年2回発行。

・38号(総会特集)=2021年07月

・39号(上期特集)=2021年11月

(2) 高大校友会PRコーナーに配架、SAネット大阪のチラシ等PR活用に努めました。

② ホームページの推進

・SAネット大阪事業部主催のイベントはコロナ禍で、大半中止も毎月更新を行う。

③ 関連団体主催のイベントに参加予定も中止続く。

・関連団体「コーダイ文化祭」「校友会フェスタ」総て中止になりました。

④ 本部経費削減

・郵送料の圧縮推進、ネット大阪理事、高大役員、府SA連協理事に手配り行いました。

・広報誌の広告募集の推進を行い、広告協賛を戴きました。計30,000

(1) ネット大阪ニュース38号=ニランジャンナセワサンガ=10,000

(2) ネット大阪ニュース39号=88観光=10,000

⑤ 新規本部事業「NPO おもちゃ学校（大阪校）— 子供健全育成指導者養成講座」（毎月第三 火曜日）

⑥ 2期生開校式（受講生26名）

(1) 長澤校長挨拶、スタッフの自己紹介、受講生の自己紹介に続き本日の授業に入る。

・4月からのスタート3密対策でスタート・午前中・座学=工具紹介 午後・科学工作
相撲ロボットづくり・記念講演：高大「子ども事業部」音田事業部長、班別写真撮影を行い班別レイアウト
で実習。

・実習後クラスミーティング 15:00～

(2) 2期生閉校式

25名（内3名）欠席の受講生の皆様と講師スタッフ11名の皆様に閉校式がコロナ禍
の中無事に挙げる事ができました。受講生の皆様の成果発表会 どれも素晴らしかったです。また終了式では松森様
作成の修了証を一人ずつに粗品を添えて長澤校長より授与しました。

・終了後スタッフの皆様と反省会を実施しました。



開校式



子ども科学



修了証・記念品授与

◆ ◆第17期 事業計画◆ ◆

I. 第17期 総括事業方針

報告者：理事長：村松 秀明

大阪府 SA 連協との連携を密にしていく中で、共に組織の根本について協議を重ね新たな組織体を模索していきます。コロナという試練を経験し、その中で活動を考え、組織を考え結果として現在の姿があります。この17期で其々の事業部の次の姿を描き、実現すべく新たな会員を積極的に勧誘していきたいと思います。常に当法人の理念「世代・国籍を問わず全ての人々と連携して支え合う多文化共生社会の実現を目指す」という事を念頭に置いて活動をすすめます。その為に、さまざまな団体・個人と連携しビジョン共創にチャレンジします。

II 事業部 活動計画

事業の実施に関する事項

1. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動計画

報告者：島田 道子

「新型コロナウイルス感染」の影響を避けての活動になると思われます。

(1) 四天王寺「わか市」

今年度は 6月 9月 10月 11月 12月 2023年2月 3月の活動予定です。子どもさん方やシニアとの「濃厚接触」が懸念されるため その対応策を講じながらの活動。

(2) 「おもちゃづくり教室」 奇数月1回第3火曜日に開催

平成17年から定期的に始めた「おもちゃ作り教室」も100回が間近になっています。今年度5月の開催は参加者多数あり賑やかに楽しく過ごしました。日本古来より伝承されてきたおもちゃを今では さらにアレンジ 工夫して「教室」で指導 今後は従来の路線を継承しつつ 新しい目線での運営を図りたいと考えています。

(3) NPO 法人大阪府民カレッジ受講生への指導 実施2校

今年度も2校3回の講師役の依頼がありました。事前の打ち合わせを綿密に行い、受講生全員に「作って遊ぶ」楽しさを味わって欲しい また、それを地域との交流に役立てて欲しいと 願っています。



2 おもしろ算数教室事業部 活動計画

二葉 登代子

今は、この教室に参加していただけるチャンスを得ることが、非常に困難な時期です。

今年度は、府民カレッジ2校と、区民カレッジ1校、毎月の小学校のいきいき教室等の他に、文化教室（プログラム）という形で、「まつばらテラス」にて毎月1回、「LIC ウェルネスゾーン」にて毎月2回の実施依頼が来ています。これらの教室では、昨年度の小学校のいきいき教室と同じように、継続して講座ができますから、パズルを解く力が向上していく高齢者の姿が見えるだろうと、楽しみにしています。

この方々には、参加していただくと、脳の活性化がはかられ、認知症予防の4本柱の

うちの一つ「脳のトレーニング」が楽しみながらできていることを、体感していただけるでしょう。

更に、「おもしろ算数教室」を理解して広めるためには、パズル体験が良い機会だと考えています。今後共に、サポーターの皆さんと一緒に、その機会を探り求めていきたいと考えています。

次に、以前定期的に教室（谷町教室）を開催しましたが、この2年間はコロナ禍のために、会場の確保が出来ないで、実施できていません。コロナウイルスによる混乱が落ち着いてきた時に、どの様に実施できるか、工夫が求められています。

人気の「清少納言チエの板」に、現在は、新しい「ユークリッドのチエの板」をサポーターの方と協同で仕上げ、知恵の板の楽しみが増えました。



3, 国際交流事業部 活動計画

報告者：古川 雅一

2022年度も、コロナ禍は続いており、オンラインによる海外との交流が活動の主流となります。しかしながら、徐々にリアルな活動も可能になってきており、在日外国人との交流活動を模索していきます。そして、目に見える活動を通して、共に活動してもらえらる仲間の獲得を目指していきます。

オンライン活動は、国際文化交流科の7期、8期メンバー、SA吹田とのコラボが中心となります。対象相手国は実績のある、ミャンマーとトルコです。

さらに、東南アジア諸国の日本語学校へ働きかけ、交流拠点拡大をはかります。

また、リアル活動としては、海外産業人材育成協会や大阪日本語教育センター、各地の日本語学校などとの連携を考えています。

大阪において、在日外国人に対応している各種団体への働きかけを通して、外国人との共生社会の実現に貢献できる活動を推進していきます。

- ・オンラインの継続活動
- ・ミャンマー日本語学校「日本語で話そう」交流会
- ・トルコ・アンカラ「土日基金友好協会」日本語教室
- ・トルコ・イスタンブール「生涯学習センター」日本語教室今後とも相手国を増やしていく努力を積み重ねる。
- ・リアル交流活動
- ・留学生、技能実習生、介護師候補者等の語学会話練習や相談相手の活動。
- ・地域ボランティア・外国人支援。在日外国人の子供・保護者サポート。など

4 広報部 活動計画

報告者：大川 正彦

広報誌の発行と対外啓発活動（チラシ、ホームページ）を行い、NPO シルバーアドバイザー・ネット大阪のファンづくり又新規事業による収支の良化、新人導入による世代交代を図る事等を継続します。

1, 広報紙の継続発行

(1) 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」は、年2回

- ・40号（総会）令和4年7月。
- ・41号（上期）令和4年11月。発行を目指します。
- ・協賛金組織による広告宣伝費協力をお願いを行います。
- ・会員交流の場「かわら版コーナー」等、充実した内容を図り発信します。

2, 各事業部イベントチラシの支援、受講者アップを図ります。

(1) 啓発活動

高大校友会のPRコーナーのラックにも継続して「PRチラシ」等を配架し又 関連団体行事の高大文化祭・高大スポーツ大会・高大修了式・大阪区民、大阪府民カレッジ 修了式等に事務局と共同で参加し、PRブースで資料でのSA ネット大阪のPRに努めます。

3, ホームページの推進

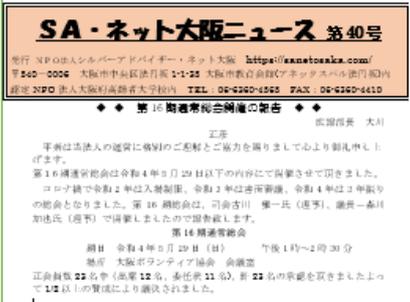
(1) SA ネット大阪主催のイベント「フレイル講演会」「国際交流サロン」「おもしろ算数教室」「おもちゃづくり教室」等の各事業部の資料更新と引き続き「事業部トピックス・コーナー」の充実で、定期的なホットニュースを発信いたします。

(2) 「SA ネット大阪ニュース」を、引き続き年2回。40号＝令和4年7月（総会特集）
・41号＝令和4年11月（上期）にHPにアップします。

(3) 関連団体の認定NPO 大阪府高齢者大学校、高大校友会、関連団体のイベントの報告を更新します。

4, NPO おもちゃ学校（大阪校）＝ 子ども健全育成指導者養成講座（本部事業）

- ・2022年度も「シルバーアドバイザー・ネット大阪」主催で実施
- ・実施日 2022年4月19日（火）10：00～ 毎月第3火曜日実施
- ・会場 大阪市教育会館3階6号 ・受講生 18名

広報誌	NPO おもちゃ学校（大阪校）	NPO おもちゃ学校（大阪校）
 <p>発行 NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪 https://sanetosaka.com/ 〒540-0004 大阪市中央区法道筋1-1-22 大阪府教育委員会メッセスペースビル3階303号 TEL: 06-6260-1525 FAX: 06-6260-6410</p> <p>◆ ◆ 第16期運営委員会開催の報告 ◆ ◆</p> <p>大川 正彦 広報部長</p> <p>平素はご協力の賜りに感謝申し上げます。ご協力を賜りまして心より御礼申し上げます。</p> <p>第16期運営委員会は令和4年5月29日以下の内容にて開催されました。</p> <p>コロナ禍で令和2年以降入会制限、令和3年は当面開催、令和4年は2年以内の総会となりました。第16期総会では、司会古川 肇一氏（理事）、議長一森川 知雄氏（理事）で開催しましたのでご報告いたします。</p> <p>第16期運営委員会</p> <p>期日 令和4年5月29日（日） 午後1時～2時30分 場所 大阪府フロンティア会館 会議室</p> <p>正会幹事 22名（出席12名、委任状11名）、第23期の承認を頂きました上って12以上の賛成により議決されました。</p>		
SA ネット大阪ニュース 40号	小学校夏休み工作教室	3期生 18名開校式

◆ ◆ 役員名簿 ◆ ◆

2022年6月1日～2023年5月31日

令和3年度		令和4年度	
理事（理事長）	村松 秀明	理事（理事長）	村松 秀明
理事（副理事長）	大川 正彦	理事（副理事長）	大川 正彦
理事（副理事長）	二葉登代子	理事（副理事長）	二葉登代子
理事	武内 信憲	理事	武内 信憲
理事	島田 道子	理事	島田 道子
理事	森川 加也	理事	森川 加也
理事	渡邊 耕平	理事	渡邊 耕平
理事	長澤 慎治	理事	長澤 慎治
理事	古川 雅一	理事	古川 雅一
監事	新鞍 清彦	監事	新鞍 清彦

大阪の花 梅



2022年度（令和4年）役員

◆ ◆会員かわら版コーナー◆ ◆ NO-27

報告者 子ども健全育成指導者養成講座
1期修了生 小林 英行

コロナ全盛の年度（2020年度）の「おもちゃ学校」の第1期を受講致しました。SA吹田からの講師陣によるロボットおもちゃ作り、クラフトおもちゃ作りと、子ども時代にも経験した事の無かった手習いを数十年たった今経験することになりました。この年齢になって手指を動かす事が脳の活性化に良いという事や、修了後に子ども達に対して何かを教える活動に入る事が出来るという期待で1年は直ぐに済んでしまいました。実際コロナの休講もありカリキュラムの半分くらいしか出来なかった状況でした。

1期の委員長を仰せつかった関係で、修了後活動を希望する受講生の取りまとめもする事になり、今年の夏休みに城東区の小学生を集めて夏休み子ども工作教室を開催致しました。4日間の開催でしたが子ども達も熱心に工作をしてくれました。

他には修了生の仲間で、今昔館で折り紙教室を開催したりする活動も行っています。また今年も「夏休み子ども工作教室」は開催予定で4日間ですが、教える内容の準備で忙しくなってきたこの頃です。又子ども達の楽しい笑い声や驚きの声を聞くのを楽しみに頑張っています。



夏休み工作教室の実施風景（2021年夏）



習った、おり染でつくった行燈

16期総会後の講演会

デジタル化時代に対応するには？ シニア世代にもとめられることは？

令和4年5月29日デジタル化時代にシニア世代はどのように対応するかの考え方を奈良女子大学工学部教授駒谷昇一氏に講演をしていただきました。明るい面と不安な面があることがわかりました。よく見極めることが大切だと感じました。

デジタル化時代に対応するには？
シニア世代に求められることは？

AIなどの情報技術により社会や生活の大きな変革が進行しています。情報社会から50歳以上のシニア世代へのデジタル化への対応も急務となり、シニア世代は主体的に個人・団体の変化を認識し、個人・団体の成長に貢献し、社会の発展に貢献することが求められています。この中で求められるスキルや知識を身に付けることが重要です。情報技術がもたらす不安と影響、新たな社会に向けての生き残りのために考えましょう。

講師 駒谷昇一氏
奈良女子大学工学部教授

期日 2022年(令和4年)5月29日(日)
午後3時～4時30分

参加費 800円 定員 50名(満員になり次第締め切り)

会場 CANVAS谷町(大阪ボランティア協会)

申込先 NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪

主催 NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪
協力 認定NPO法人大塚尚高修養大学校
NPO法人大阪近鉄カレッジ NPO法人大阪府民カレッジ



特別寄付募集中

インド最貧の地にウォーターポンプ設置を♡

ニランジャナセワサンガはインド最貧の地で教育支援を行っている法人です。
未だに川の水を生活用水としている地域で、少しでも清潔な水を届けようとしています。
昨年は5基、少しずつですがコロナ対策支援とあわせて設置を増やしています。

ウォーターポンプ特別寄付 1口1万円 8口で1基設置できます

・芳名を大理石プレートに刻ませていただきます。

寄付金振込先 三井住友銀行 大阪西支店 支店 NO443
口座番号 7028984 特定非営利活動法人 ニランジャナセワサンガ



特定非営利活動法人・ニランジャナセワサンガ

〒541-0055 大阪府大阪市中央区船場中央 1-3-2-302
大阪市コミュニティ協会内

2022 年度会員募集について

平素は、NPO シルバーアドバイザー・ネット大阪に格別のご理解とご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

2022 年度(2022 年 4 月 1 日～2023 年 3 月 31 日)につきまして、新規入会の方継続ご入会いただく方、年会費の納入は以下の通りです。

記

- ◇正会員 会費年額 3,000 円 ◇賛助会員 会費年額 1,000 円
 - ◇振込先 ゆうちょ銀行 口座記号番号 00970-1-235092
 - ◇口座名 NPO 法人シルバーアドバイザーネット大阪
- ・振込料は、恐縮ですがご負担をお願いいたします。
- 新規申し込み希望の方は入会申込書をお送りしますので、郵送か FAX または E-mail に添付し下記宛にご返送ください。

NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪

〒540-0006 大阪府中央区法円坂 1-1-35
大阪府教育会館（アネックスパル法円坂）内
認定NPO法人大阪府高齢者大学校内
TEL080-3040-6336

[E-mail sanet@osaka-koudai.com](mailto:sanet@osaka-koudai.com)

[URL https://sanetosaka.com](https://sanetosaka.com)

[編集後記] 疫病・戦争の報道がない日が無い、生き残れるか日本の企業・・・SA ネット大阪 3 年ぶりの総会（対面）、ネット大阪各事業も苦戦を強いられて居る 1 昨年 15 周年迎え一度立ち止まり原点を見直す時期かも「SA 養成講座は昭和 63 年（34 年前）」全国でも珍しい政策「アクティブシニアが溢れる大阪」が開始。府 SA 連協、府民カレッジ、区民カレッジとの共生が課題、・2025 年に世界一の超高齢社会に入る時に社会保障を支えるボランティアが必要な時期に、ボランティア人口が減り続けるも大きな課題。・温故知新「ふるきを、たずねてあたらしきをしる」大阪府下各市で市長囲んでのタウンミーティングが進んでいる「有償ボランティア制度」も提案しては・・・16 期総会情報 40 号お届けします。 広報部 M,O